

5 - 10 琵琶湖周辺における重力変化 Gravity Changes Observed near Lake Biwa

京都大学理学部
Faculty of Science, Kyoto University

琵琶湖周辺においては、1964年以降、琵琶湖周辺での重力変化を検出するために、ラコスト重力計を用いて、精密重力測定を繰り返し行なっている。とくに、1971年以降は、同じ重力計 G - 196 を用い、同じ測定方法を採用して、精密重力測定を実施している¹⁾。

第1図は、京都大学理学部地球物理学教室重力基準点の重力値が不変であると仮定して求めた各測定点での見かけの重力変化である。また、第2図は、2つの期間1971～1975年および1975～1981年における各測定点での重力値の増減を示している。

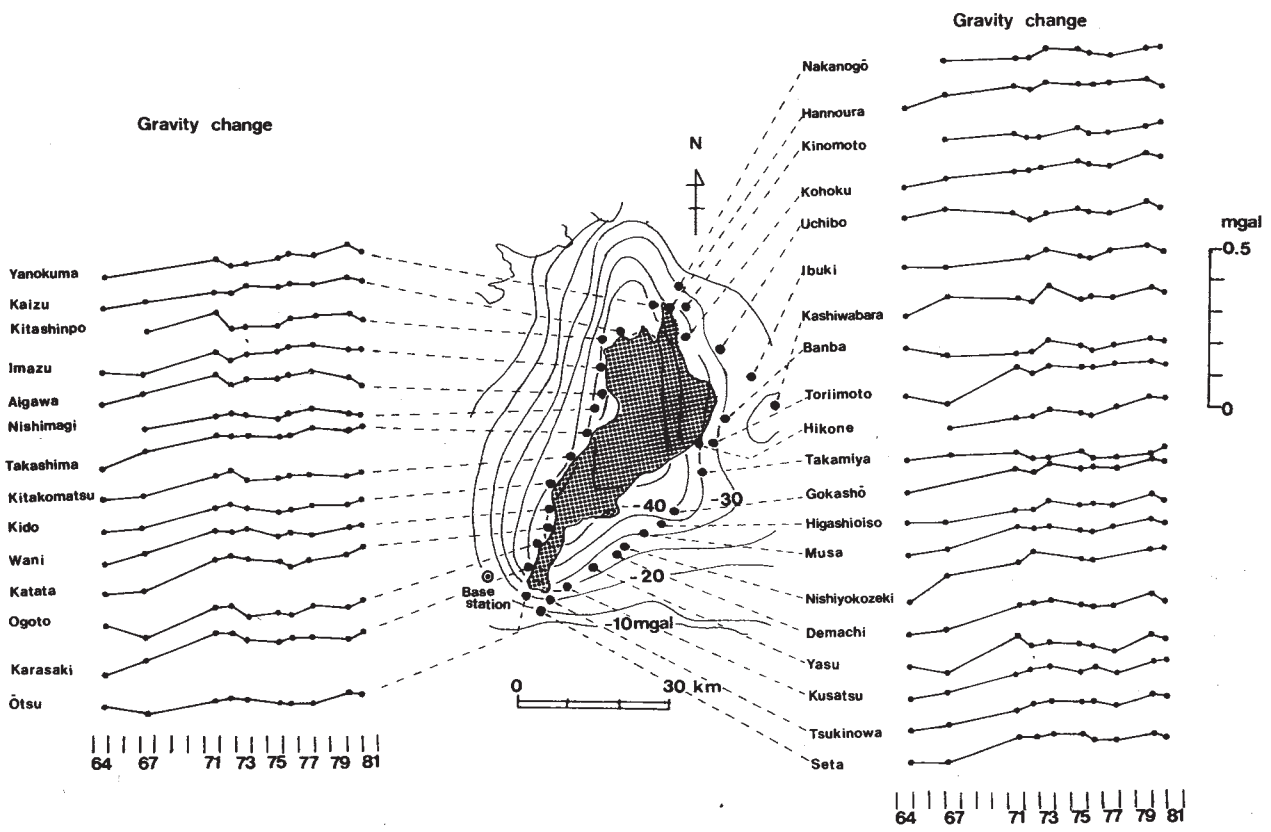
これらの図から、最近の10年間に、琵琶湖東岸および北岸において、 $20 \sim 40 \mu \text{ gals}$ の重力値の増加が認められる。一方、琵琶湖西岸においては、1975～1976年を境にして、重力値の変動の傾向が減少から増加に転じたようにみうけられる。

なお、琵琶湖西岸における重力値の変化は、ほぼ同時期に国土地理院で実施された水準測量の結果と、その傾向においては矛盾するものではないが、その量においては説明がつかない。

(重力の時間的変化の観測班・総合移動観測班)

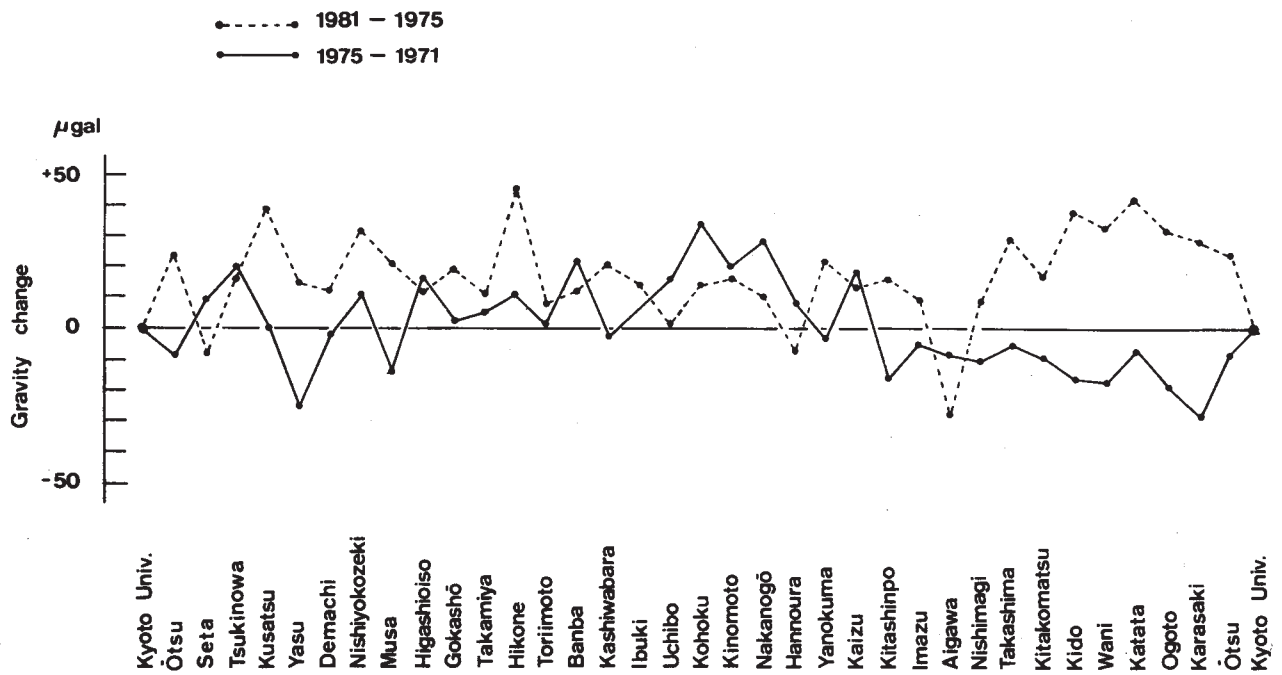
参 考 文 献

- 1) Nakagawa, I. and M. Satomura, 1977.: Gravity Change Observed near Lake Biwa, Japan, Bull. Geod., 51, 213 - 217.



第1図 琵琶湖周辺における重力変化 (1964 ~ 1981)

Fig.1 Gravity changes observed near Lake Biwa (1964 - 1981).



第2図 各測定点における重力値の増減

Fig. 2 Gravity differences during the periods of 1971- 1975 and 1975 - 1981 at each station.